

YOSHIDAROBERTO

Creative director

×
恩納村

うんな中学校のロゴのデザインや体操服の監修をしていただいた塩屋区出身のクリエイティブディレクター吉田ロベルトさんをご紹介します。

ファッションの世界へ

高校生の頃、先輩の影響でファッションに興味を持ち、名桜大学を卒業後、杉野学園ドレスメーカーファッションビジネス科に入学し、ファッションについて勉強しました。

卒業後は、ファッションブランド「Roenn(ロエン)」に入社、ミラノやパリ、ロンドンでコレクションに関わりました。

2014年に独立し、デザインチーム「イーナストウディオス」を設立。オリジナルブランド「オキナワメイド」を展開。

デイズニーやホンダといった世界的ブランド・企業とのコラボ商品やアーティストのオフィシャルグッズなど幅広く活躍しています。

現在は、サッカー・J2リーグに所属するFC琉球のクリエイティブディレクターを務めています。

20年間、東京でファッションの仕事に携わり、現在は恩納村に拠点を移し活動しています。

恩納村への思い

コロナの影響でイベント等の中止が相次ぐ中、何かできることはないかと考えていた吉田さん。教育委員会と話をすることで、うんな中学校？、3年生の体育着が揃っていないことを知り、「生徒や先生たちがお揃いのシャツを着て体育祭を楽しんでほしい」とオリジナルTシャツを贈りました。

上京する時から恩納村で起業をしたいと思っていた吉田さんは「沖縄に学ぶ場所がなかったため東京に出ただけ。根っこはずっと恩納村にある」。そう話すほど恩納村への思い入れが強い。

幸せの連鎖を作りたい

バイク好きが高じてホンダと仕事をするようになった吉田さん。

ファッションショーでオートバイのグッズなどを発表したことがきっかけでホンダと仕事をするようになった。

「いつかは子どもたちをレース会場や展示会に招待したい。そこで自分の仕事を見て色々感じてほしい。

幸せの連鎖を作りたいので、次は他の起業家や企業の方たちが、さまざまな角度から子どもたちを支援する取り組みが広がっていくことを期待しています」と話しました。

今後について吉田さんは「沖縄だと足りないものや新しいものに触れ



うんな中学校体育祭



(左から) 長浜村長、當山生徒会長 吉田さん、宜志富校長、當山教育長

られないデメリットはあるが、東京でなくても仕事はできる。
恩納村のクリエイティブディレクターとなって、沖縄から世界に発信していきたい」と語りました。

恩納村は、2019年に「SDGs未来都市」に選定されました。SDGsを知ってもらうきっかけとして、吉田ロベルトさんの恩納村発信ブランド「オキナワメイド」とコラボステッカーを作成しました。

ブランドロゴを基調に、SDGsのカラーホイールを合わせたデザインとなっています。

